

2021 年度ジョイントセミナー 日欧における 学校制度の可能性と限界を考える



『境界線の学校史』東京大学出版会と『学校から離れる若者たち』ナカニシヤ出版の執筆者によるジョイントセミナーを開催する。

第1部では、『境界線の学校史』で対象にした日本の学校の境界線に着目する。法令上の学校とそこからはみ出して存在する学校との間の領域に注目し、変化する社会に対応してきた学校の歴史的な役割を検討してみたい。

第2部では、ヨーロッパに視点を移して、学校教育から離れる若者の現状と、その課題に向き合うための教育訓練機関の位置づけについてドイツ、オランダ、スウェーデンの取り組みから考えてみたい。

日欧共に行き過ぎた学校化社会を問いなす時期にある。(隠れ)不登校、中途退学など公教育から離れる、あるいは追いやられる生徒に対し、個人の問題ではなく、学校のあり方や、社会としてのセーフティネットのあり方が問われている。本ジョイントセミナーにおいて今日の日欧の学校の問題を比較することで、新しい学校像を模索してみたい。

第1部

木村元 (一橋大学) 「日本の学校の境界線ーその展開に即して」
江口怜 (和歌山信愛大学) 「夜間中学から考える義務教育の境界線」
呉永鎬 (鳥取大学) 「外国人学校から考える公教育の境界線」

第2部

(※いずれも章のタイトルであり、タイトル変更の可能性がある)

辻野けんま (大阪市立大学)、布川あゆみ (東京外国語大学) 「ドイツの早期離学問題」
見原礼子 (同志社大学) 「オランダにおける早期離学の現状と課題」
林寛平 (信州大学)、本所恵 (金沢大学) 「スウェーデンの離学予防・復学支援施策」

指定討論者: 佐久間孝正 (東京通信大学、東京女子大学名誉教授)、斎藤里美 (東洋大学)
司会: 園山大祐 (大阪大学)

2021 年

7月31日(土) 15時 ~ 18時

@大阪大学人間科学研究科本館31教室 (吹田キャンパス)

※オンラインと対面のハイブリッドの予定です。事前予約制となります。

お申し込みは右 QR コードまたは下記 URL からフォームにご登録ください。
<https://forms.gle/XjfsGMfeP1vefG7p7>



お問い合わせ

MAIL: jointseminar.info@gmail.com

主催: 大阪大学人間科学研究科教育制度学研究室